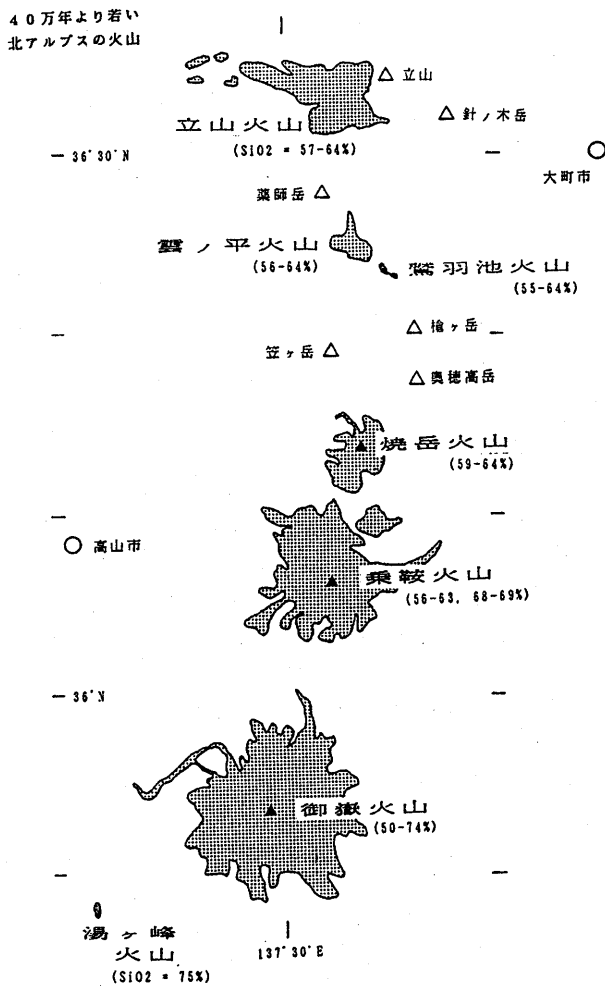


40万年より若い北アルプスの火山*

工業技術院地質調査所

北アルプス（飛騨山脈）周辺の、40万年より若い火山は以下の通りである（第1図）。



第1図 40万年より若い北アルプスの火山

Fig.1 Distribution of volcanoes younger than 0.4 Ma, around Japan Alps.

* Received Mar. 2, 1990

立山火山：噴火記録なし。地獄谷では硫気活動がさかんで、最近一万年間に少なくとも4回の水蒸気爆発が起こっている（日下部ほか，1983）¹⁾。新立山火山後期の溶岩のK-Ar年代は3～6万年（清水ほか，1988）²⁾。活動史を第2図に示す。

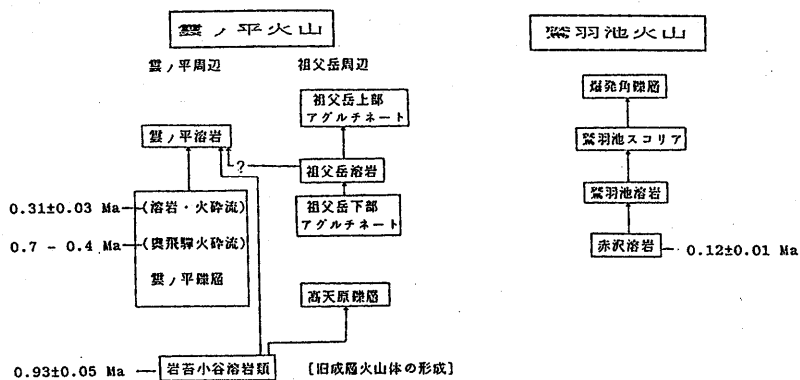
年代 (×万年)	活動史 区分	噴出物と関連する堆積物・地形
0.6 1.0 2.3	最新 (第4期) 静穏期	ミクリガ池・地獄谷などの爆裂火口の形成 類質テフラ層 [(2,950年B.P.) (8,900年B.P.)] 立山氷期の山崎カールの形成
4.8	新立山火山 後期 (第3期)	室堂・国見岳・天狗山をつくる溶岩の噴出 ・玉殿溶岩の噴出 赤壁火砕流堆積物 室堂平の形成 室堂氷期の堆積物
7～9	新立山火山 活動期 前期 (第2期)	立山カルデラの形成 弥陀ヶ原・五色ヶ原などの火砕流台地の形成
	静穏期	
	古立山火山活動期 (第1期)	成層火山の形成

第2図 立山火山の活動史（小林，1988³⁾を修正）

Fig.2 History of Tateyama volcano.

雲ノ平火山：噴火記録なし。約30万年前に活動を再開した（第3図）。火口地形は残っていない。

鷲羽池火山：噴火記録なし。K-Ar年代は12万年（清水ほか，1988）。明瞭な火口を持つ。活動史を第3図に示す。



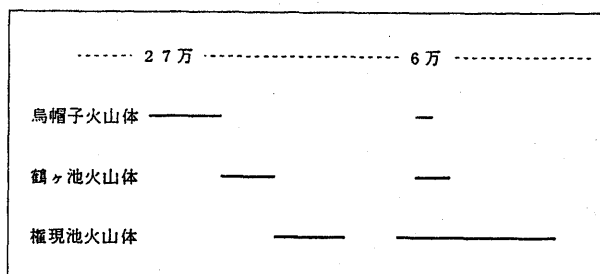
第3図 雲ノ平火山及び鷲羽池火山の活動史（中野，1989 b⁴⁾）

Fig.3 Stratigraphic relation of Kumonotaira and Washibaiké volcanoes

焼岳火山：明治以来，水蒸気爆発を多数記録。1962年の噴火以来，静穏を保っている。

乗鞍火山：噴火記録なし。山腹（湯川上流域）でわずかに硫気活動が認められる。

北から烏帽子・鶴ヶ池・権現池火山体からなっており，それぞれが古期成層火山体と新期噴出物から構成されている（中野，1989 a⁵）；第4図）。火山体の東斜面では水蒸気爆発によるテラフが分布している。烏帽子火山体の古期成層火山体は約27万年，新期溶岩は約6万年（清水ほか，1988）である。また，烏帽子火山体の北東3～5 kmに十石火山体があるが約21万年前の火山体である（清水ほか，1988）。



第4図 乗鞍火山の活動年代（数字は年）

Fig.4 Stratigraphic relation of Norikura volcano.

御嶽火山：1979年に水蒸気爆発（有史以来初めての噴火）。最近6,000年間に少なくとも5回の水蒸気爆発を起こしている（山田・小林，1988⁶）。古期御嶽と新期御嶽火山（8万年前～）からなる。

湯ヶ峰火山：噴火記録なし。K-Ar年代は12万年（清水ほか，1988）。

参 考 文 献

- 1) 日下部 実・林 尚美・小林武彦（1983）：立山火山，地獄谷に見られる縞状硫黄堆積物の成因。火山，**28**，245-261。
- 2) 清水 智・山崎正男・板谷徹丸（1988）：両白一飛驒山地に分布する鮮新-更新世火山岩のK-Ar年代。岡山大学蒜山研究所研究報告，**14**，1-36。
- 3) 小林武彦（1988）：立山火山。日本の地質5 「中部地方Ⅱ」，p.181-182。共立出版。
- 4) 中野 俊（1989 b）：北アルプス，鷲羽・雲ノ平火山の地質。火山，**34**，197-212。
- 5) 中野 俊（1989 a）：乗鞍岳。理科年表読本 「空からみる日本の火山」，131-134，丸善。
- 6) 山田直利・小林武彦（1988）：御嶽山地域の地質。地域地質研究報告（5万分の1地質図幅），地質調査所，136 p。